

## 巻頭言

精神科医療では多職種によるチーム医療が推進され、精神科薬剤師もチーム医療の一員として、複数の医療専門職と連携・協働して患者の治療やケアに従事しています。最近では、身体疾患に伴う様々な心理的問題をチーム医療の中で扱う精神科リエゾンチーム医療が、主に外科や内科などの身体科と連携しながら行われています。一方、精神科医療の流れは、入院治療から外来治療を中心とした医療に変化し、退院時や外来における薬物治療の適正化も重要となり、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携が重要視されています。

近年、新しい精神科治療薬が登場し、精神障害の薬物療法は革新の時期を迎えています。多くの治療薬は受容体やトランスポーターなどを標的として開発されていますが、ここ数年間で蓄積された向精神薬と神経細胞新生の知見によって治療戦略が、神経細胞新生や神経細胞保護という点に着目されています。最近いくつかの精神疾患では、遺伝子の変異や遺伝子のオン・オフを決めるエピジェネティックの異常が、疾患の脆弱性や病態に関連していることが見出されています。ゲノム・エピゲノムを基盤として、将来的には根治治療や薬剤選択につながることを期待されています。

このように臨床現場の精神科薬剤師が、ゲノム研究や基礎研究に関する知識を向上させることが求められている反面、薬学領域の基礎研究者が臨床における薬物治療の知識を向上させることも、精神科薬物治療には不可欠です。今後は精神薬学領域の臨床と研究を基盤とした病院薬剤師、薬局薬剤師および研究者の養成が必要となり、本研究会の果たす役割は益々重要となっています。平成28年9月、日本精神薬学会が設立されました。本研究会と日本精神薬学会は、精神科薬剤師が精神科薬物療法の主体的な治療者として国民の健康を守ることを使命としています。両会の目的や目標は類似しており、精神科医療の発展のためにも日本精神薬学会と連携・協働して、精神科臨床や研究に携わる病院薬剤師、薬局薬剤師や薬学研究者にも最新の情報を提供できるようにしていく必要があります。本研究会を益々発展させ、本研究会の会員の皆様が、日本精神薬学会の行事にも参加しやすいように連携・協働していきたいと思っております。今後も何卒、宜しくお願いします。

副代表世話人 野田 幸裕

## ソウルでの決起集会に参加して

去る7月2日、第46回日本神経精神薬理学会年会・韓国ソウル大会1日目終了後、ソウル市江南区にある「南浦麵屋(ナンパミュノツ)」にて一般社団法人日本精神薬学会設立の決起集会が行われました。日本を代表する精神医療のスペシャリストの先生方をはじめ、精神医療に関わる薬剤師など総勢56名が一堂に会し、本場のおいしい焼肉を食べ、おいしいマッコリを飲み、穏やかなムードの中で行われました。様々な先生方と学会の設立と発展について意見を交わし、私も学会の発展について微力ながら頑張っていければと、改めて感じる事が出来ました。

北海道ブロック世話人 志田 雅彦

## 2016年度上期の活動状況

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	ワークショップ/症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数
北海道	札幌	7月10日	舞子浜病院 吉田 憲一 平松記念病院 矢萩 英一	-	林病院 井鳥 慶一 大谷地病院 山本 芳正	28
東北	仙台	6月19日	協和病院 善本 正樹	協和病院 善本 正樹	盛岡市立病院 佐々木 昇 宮城県立 精神医療センター 石田 雄介	55
関東・ 甲信越	東京	10月 2日	慈雲堂病院 川上 宏人 ひだクリニック 木村 尚美	東京女子医科大学 高橋 結花 大泉病院 高橋 希衣	-	29
	大宮	7月10日	筑波大学 松崎 朝樹	埼玉精神神経センター 出川 えりか	田宮病院 佐合 絵里 アイ調剤薬局 成井 繁	51
	千葉	9月25日	相州病院 西本 雅彦	中山病院 工藤 行夫	聖マリア記念病院 長谷川 毅	14
東海	名古屋	7月10日	南知多病院 田中 誠	南知多病院 田中 誠 総合心療センター ひなが 和田 智仁	楠メンタルホスピタル 三田村 浩之	32
北陸	金沢	8月 7日	金沢医療センター 坂井 尚登 福井病院 村山 順一	岡部病院 近澤 一夫	-	34
近畿	大阪	7月24日	奈良県立医科大学 岸本 年史	奈良県立医科大学 井川 大輔 水口病院 大久保 雅則	-	68
中国・ 四国	岡山	9月 4日	たいようの丘ホスピタル 原田 俊樹	岡山県精神科 医療センター 佐藤 康治郎 岡山県精神科 医療センター 香川 あずさ	岡山大学病院 江角 悟	21
	松山	9月25日	愛媛大学大学院 上野 修一 高知大学医学部 附属病院 細木 加寿子	土佐病院 高村 祥吾	-	13
九州	福岡	7月24日	大分丘の上病院 帆秋 善生 名城大学 亀井 浩行	西協病院 島田 治子 日明病院 宮川 響子	-	106
	沖縄	8月28日	玉木病院 道下 聡	パークレーいむろ心のクリニック 伊室 伸哉	さわ病院 天正 雅美	15

### 会費の納入方法についてのご案内

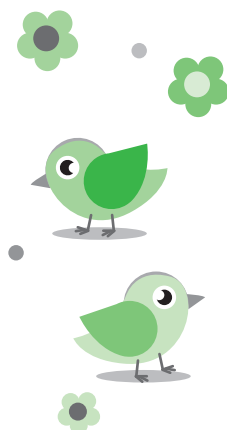
これまでPCP研究会の年会費をブロック講演会会場でも納付いただいておりますが、  
今後は郵便局での納付を奨励させていただきます。つきましては、2017年度4月より会費  
ご納入に掛かる手数料の扱いが下記のように変更となります。  
ご負担をお掛けいたしますがご理解いただけますようお願いいたします。

- 郵便局の振込用紙を使用する場合  
窓口：130円、ATM：80円  
※同じ手数料で、16名までの  
一括振込が可能です。

- 講演会場受付にてご納入される場合  
事務手数料として300円を徴収  
なお、社会人を除く学生は会費不要です。

会費のご納入期間は、年度上期4月～9月となりますので  
ご納入忘れの無い様、よろしくお願いいたします。

(事務局)



## みんなねっと三重大会

みんなねっと（全国精神保健福祉会）三重大会が10月27～28日の日程で開催されました。参加者は全体で1000名、お薬相談には2日間で60名程度来られました。中村友喜先生（三重県立こころの医療センター）、佐々木典子先生（三重大学附属病院薬剤部）、和田智仁先生（総合心療センターひなが）、三輪（鈴鹿医療科学大学）で対応しましたが、



どの患者さんも満足して帰っていただけたと思います。患者さんからは服薬継続や副作用の悩みなどが、ご家族からは服薬している薬に問題は無いのか、といった質問が多く寄せられました。担当した薬剤師にとっては、患者さんやご家族へ情報提供できた喜びとともに、もっと研鑽して多くの人を助けなくてはならないと気持ちを新たにす良い機会となりました。

顧問 三輪 高市

## 処方調査委員会からのお知らせ

いつも処方調査にご協力いただき、ありがとうございます。今年度も10/31（月）に全国処方調査を実施いたします。今回は、近年の患者高齢化に伴い増加している身体合併症と薬物療法の関連性を調査する目的で、合併症（心疾患、糖尿病、脂質異常症）に関する調査項目が、新たに追加されています。臨床現場で役立つ知見が得られることを期待しています。先生方にご提供いただいているこの処方調査のデータですが、診療報酬改定（28改定）においても参考資料として活用されましたので、業務繁多とは存じますが、是非ご参加ください。また、PCP研究会では、これまでのデータを含め、学会&論文発表者を募集しております。世話人による全面バックアップ体制となっていますので、希望される方はブロック世話人まで遠慮なくお申し出ください。

東海ブロック世話人 宇野 準二

## 第112回日本精神神経学会学術総会発表報告

於 2016年6月2日（木）～4日（土）：幕張メッセ、他

この度、上記学会において、「統合失調症患者の薬物療法に関する処方実態調査（2015年）～全国106施設の調査から～」との題目で、近畿ブロック世話人の本多智子先生とともに2題発表いたしました。

今年の発表も世話人が代表でさせていただきましたが、本調査研究の成果は、ひとえに多忙の業務の傍ら、カルテと入力シートを凝視しながら多くのデータをまとめてくださいました全国の先生方の尽力によるものと感謝いたします。私自身、毎年の調査であの細かいセルと睨めっこしていると目がチカチカしてきたり、気付いたら入力する列がズレていたり、しまいには発狂しそうになります。しかし、発表後、満席の会場から多くの質問が飛んでくるのをみると、本調査研究はわれわれPCP研究会が全国に情報発信するための大きな責務であることを感じます。

引き続き、全国の先生方のお力をお貸しいただきましたら幸いです。



中国・四国ブロック世話人 北川 航平

## 2016年度下期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	11月12日(土)	大塚製薬(株)札幌支店 9階大会議場
東 北	盛 岡	12月18日(日)	マリオス盛岡
関東・甲信越	東 京	3月 5日(日)	御茶ノ水ソラシティカンファレンス
	千 葉	1月29日(日)	大塚製薬(株)千葉支店 会議室
	大 宮	3月12日(日)	TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 6F カンファレンスルーム6B
東 海	名古屋	2月19日(日)	ウインクあいち 1102号室
北 陸	金 沢	2月19日(日)	明祥株式会社 本社・金沢支店
近 畿	大 阪	1月29日(日)	大阪マーチャンドイズ・マートビル (OMMビル)
中国・四国	広 島	3月4日(土)または3月5日(日)	未定
	高 松	1月15日(日)	サンポート高松 5F 55会議室
九 州	福 岡	3月26日(日)	福岡国際会議場
	沖 縄	2月12日(日)	未定

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。



### 事務局 掲示板

#### ■2016年度会費(2016年4月～2017年3月分、年会費：3000円)

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

\*通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。  
(会員番号が不明な方は、メールで事務局(contact@pcp-rg.org)へお問合せください。)

#### ■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ  
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

#### ■特別講演DVD「慢性期病棟での地域移行支援 処方の減量・単純化とLAIの活用」

2016年度上期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。  
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出しも受け付けております。

#### ■事務局連絡先

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-5 茅場町2丁目ビル8階  
株式会社ネオファルマ 内

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

FAX : 03-5643-0114 URL : http://www.pcp-rg.org/

### 【編集後記】

PCP研究会発足当時から夢でもあった精神科薬剤師のための学会が、このたび満を持して設立しました。今後は、PCP研究会と日本精神薬学会は精神科薬剤師の更なる飛躍のための両輪として大切な役割を担っていきます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(M.K)

